

2024年1月1日

## 神戸学園都市 YMCA こども園 1月えんだより

1月の聖句「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」

ヨハネによる福音書第15章5節

あけましておめでとうございます。年末になるとマスコミに登場する「今年の漢字」。2023年は『税』でした。この「今年の漢字」が始まったのは1995年。阪神淡路大震災があったこの年の漢字は『震』で、その後の約30年間の漢字を見てみると『倒』『戦』『災』『暑』等々。マイナスのイメージを表す漢字が並んでいました。その中で数少ないプラスイメージの漢字は18年ぶりのタイガース優勝を祝って選ばれた2003年の『虎』と紀宮様ご成婚を祝った2005年の『愛』。そして2011年の『絆』。これは東日本大震災などの災害を受けて改めてその大切さを知った年であるとともに、なでしこジャパンのワールドカップ優勝を受けて、チームの『絆』のすばらしさに感動し、勇気づけられたことで選ばれたものだったそうです。新しい年は、すべての人々が未来に向けて夢を持って歩める一年となり、年末には『夢』が選ばれることを望みたいと思います。

クリスマスから新年、世界中からお祝いムードのニュースが届く一方、ウクライナやパレスチナでは激しい戦闘が続き、さらに多くの人々が戦場に駆り出され、また、多くの女性や子どもたちを含む一般の人々が戦闘の犠牲となる中で、『不安』と『絶望』の中から抜け出せない状況が続いています。どちらも自身や自国、民族の存続が脅かされるといった『不安』と、敵対勢力に対する『恐怖』に支配され、剣を収めることができなくなってしまっているように思います。世界中に大きな影響を及ぼしているこの争いですが、いずれも根っこの深いところでは同じ天地創造の『神』を信じる人々が長い歴史の中でそれぞれに異なった解釈をして袂を分かち、今日に至っていることが大きく影響しています。同じ木（神様）に繋がっていたものがいつしか異なった枝（私たち）となり、異なった実（不安や恐怖）をつけてしまっているのです。神様が望んでおられるのは、木（神様）からの愛をいただき、『互いに愛し合う実』をつけることです。この天地創造の『神』の願いに応えることが、今、私たちに求められているように思います。

こども園のクリスマス祝会では、ゆり組の子ども達が『かみさまからのおくりもの』の歌を手話を交えて披露しました。優しくする心 (Caring)、正直な心 (Honesty)、頑張る心 (Responsibility)、大切に思う心 (Respect)。この4つの『心』が『互いに愛し合う実』につながることを信じて、新しい年も希望と夢をもって歩みたいと思います。

1月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	できたよ	取り組む
月の願い	*「自分で」という思いから「できた」につながった時の喜びの笑顔が増えることを願い、一人ひとりを見守っていきたいと思います。	*生活やあそびの中で、友だちと思いや考えを伝え合い、一緒に過ごす楽しさを感じながら様々なことに取り組んでほしいと思います。
讃美歌	「つくしのよう」 幼児讃美歌58	「しゅイエスはまことのぶどうのき」 こども1196